

大高 翔

大河の会

### 男性へのHPVワクチン接種の情報提供

【質】HPVワクチンは男性の接種においても中咽頭がん、肛門がん、陰茎がんなどの予防効果が認められている。男性へのHPVワクチン接種の情報提供の考えはないか。

【答】現在、4価ワクチンの男性への接種が承認されているものの、任意接種であることから、積極的な情報提供は難しいと考えており、今後、国の動向を注視していく。

### 電子入札システムを導入すべきでは

【質】県は電子入札システムを導入しており、数千円の大きな契約から鉛筆1本単位の小さな契約まで入札可能である。少額でも競争させることを前提に電子入札システムを導入する考えはないか。

【答】電子入札はシステムに対応できない事業者への対応等課題もあるが、入札参加者の負担軽減等双方にとって合理的である。工事等の入札は、県のシステムを共同利用する場合、メリットが多く導入に向け検討を進めている。物品等の入札は共同利用の取組がなく、独自システム導入は課題が多いため、今後自治体DXの取組と併せ、調査研究を行っていく。

#### その他の質問事項

- 活力ある高齢化推進委員に「経営者枠」の考えは
- 9価HPVワクチンに関する対応は
- 天日干し米のブランド化の考えは

渡辺 優子

平政・公明党

### 「見守り電球」で高齢者の見守り強化を

【質】トイレや廊下の電球を通信SIM内蔵型電球に取り替えることで、点灯・消灯の情報で異常を見つけ、訪問が可能となったり、離れている家族のパソコンなどに情報が送信されるが、導入の考えは。

【答】市でも、高齢者の一人暮らし世帯は増加しており、単身高齢者世帯の見守り体制の強化は、ますます重要になると考えている。見守り電球のほか、見守りポット等様々な製品が各メーカーから出され、簡単な設置により、御家族が安心して見守りできることから、今後、支援の在り方や対象機器等の制度設計について、検討したいと考えている。

### 相談業務体制の強化

【質】市の消費生活センターへの相談は消費者被害や多重債務など年間300件を超えている。相談員を増員し専用ブースを設け、市民が安心して相談できる環境を整備すべきではないか。

【答】消費生活に関する相談は増加傾向にあり、特殊詐欺等の手口が巧妙かつ悪質化していることから、消費生活相談員の増員が必要と考えている。消費者の相談内容が複雑化、多様化していく中で、警察や弁護士、社会福祉協議会等、関係機関との連携も重要なことから、相談体制の充実について、消費生活センター専用ブースの設置も含め検討する。

#### その他の質問事項

- 安全・安心の暮らしを守るための雪対策

佐藤 智一

希望

### 新型コロナウイルス拡大で飲食業支援を

【質】オミクロン株による感染が1月より拡大しているが、1月以降の影響の部分については支援の枠組みがない。早急に救済が必要ではないか。

【答】飲食店も対象の長期影響継続事業者支援金を支給しているほか、幅広い業種の店舗等で利用できる、のしろトクトク商品券を4月中旬から発行する。併せて商店街団体等の誘客等を支援する、がんばるのしろの商い応援支援事業も再度準備を進めている。新たな支援は制度設計等に時間を要するため、まずはこれらにより事業の下支えに努めたい。

### データセンター誘致の調査を進めては

【質】国では民間のデータセンターを全国10か所に分散することを検討している。適地要件として再生可能エネルギー等があり当市政策との親和性が高いが、調査事業を進める考えは。

【答】国の「デジタルインフラ整備に関する有識者会合」の中間取りまとめによると、データセンター最適配置の観点から拠点整備に重視する事項として「電力消費の大きな設備であるデータセンターへ再生可能エネルギーを効率的に活用すること」等が挙げられている。今後国から示される補助制度の要件等を精査した上で、申請を検討したいと考えている。

#### その他の質問事項

- 雪害対策計画を策定すべきでは
- 危機管理部を設置する考えは
- これからの行政に何が必要か